



土佐山田ゴルフ倶楽部

再生手続きの
申し立て
土佐山田ゴルフ倶楽部を運営する土佐山田観光開発株式会社が、民事再生法に基づく再生手続きに至った。土

佐山田観光開発株式会社は平成六十二年に設立され、当時の土佐山田町としては、土佐山田ゴルフ倶楽部の発展・町の活性化を念じ、出来る限りの支援に努めてきた。

しかし、その後のバブル崩壊に伴う景気の低迷により、大幅な債務超過に陥った経緯が、社長より報告された。設立当時、土佐山田観光開発株式会社より土佐山田町に対し寄付金があり、寄付金に見合う株式を土佐山田町開発公社で六百口所有し、現在も香美市開発公社が株主の一員である。

また、ゴルフ場に隣接する地域のほ場整備事業に対し、当時の土佐山田町が負担する額の二分の一を町に対し支払うという覚書が交わされているが、十二年度から滞り、残額約一億四千五百万円を三十三年度までに支払う

こととなっている。今後、再生手続きの中で負債処理の方法等を協議することとなる。

第1回地域審議会を開催

九月二十六日に第一回地域審議会が開催された。初の審議会は共通の議題も多く、合同で開催された。

会長・副会長の選任は、土佐山田審議会会長に山崎和孝氏、副会長に坂元吉久氏、香北審議会会長に野島民雄氏、副会長に岡林寿男氏、物部審議会会長に宗石教道氏、副会長に小松律男氏となった。

審議会の役割は、市長の諮問に応じ、香美市まちづくり計画の執行状況、地域住民からの要望等、その他審議会が必要と認める事項について審議、答申することが可決された。

また、庁舎建設委員会等の委員選出について、各審議会ことに協議し決定した。

香美市財政計画

新市の財政計画は、平成十九年度から二十三年度の中期計画とし、九月末現在、一定の条件下でのシミュレーションが出来るところまで作業が進んだ。その中で、本市の行政ニーズを現行の行政水準のまま満たそうとすれば、五年間で約二十九億円の財源不足となることが判明した。

原因は、一般財源に起因しており、平成十七年度の一般財源を一〇〇とした場合、二十三年度は九六に減少する見込みである。現在、国の経済は上



10月定例会
市長より議会へ
諸般の報告
門脇槇夫市長



こじゃんと太いね (物部町神池)

昇基調にあるが、逆に一般財源が減少する見込みを立てなければならぬところに、本市の財政基盤の弱さ、財政状況の悪さが浮かび上がっている。今後は、収支改善策を講じ、行財政改革大綱やまちづくり計画の方針を取り込み、十二月議会に財政計画を示したいと考えている。

合併記念事業が決定

「香美市合併記念事業」の主催事業が決定した。十一月十二日の「奥ものべまるごと自然体験」をはじめ、十二月二日の3エリアをつなぐウォーキング大会や泰山公園での伝統芸能大会、三万人の笑顔写真展など多彩に繰り広げられ、来年三月の西熊を主とした植樹

祭で締めくくることがなっている。

有害鳥獣駆除の状況

有害鳥獣駆除については、予察駆除を四月に実施し、五月以降は通常駆除を行ってきた結果、八月末現在イノシシ五十四頭、シカ二百四十一頭、サル五匹、ノウサギ三羽、ゴイサギ一羽であり、昨年同期を大きく上回っている。

被害防止事業については、県単事業七件、市単事業五件の補助申請があり補助総額七十一万九千円である。

テクノパーク4号区画を分譲

高知テクノパーク4号区画に分譲申請があった広島県福山市の株式会社ジェーイーエルと九月十五日に譲渡契約環境協定を締結した。



工場建設間近 (高知テクノパーク)

工場建築工事は、本年十一月着手予定で工事完了は、来年四月末操業が来年六月一日の予定となっている。第一期計画では、従業員数十二名で、半導体用ウエハ搬送ロボット・基盤搬送システムの生産を計画している。

第三者による学校評価

今年度「学校評価システム構築事業」を実施しており、三日間の予定で文部科学省の担当者、教育委員会・山田小学校・鏡野中学校にて、第三者評価の調査を行っている。

今後、各学校で行われている教育の質を評価し、結果に応じて必

要な支援を行い、一定水準の教育を保証し、向上を図っていく。

平山小学校を社会教育施設に

平成十七年四月より休校中であつた平山小学校については、宿泊を伴う社会教育施設として整備を行い、地域の活性化を図っていきたいと考えている。今後、整備を進めるために、地域の同意も得ており、今議会で学校設置条例の改正案を提案している。



生まれ変わる平山小学校